

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習 I		美容学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	105回	7単位(210時間)	必須	井川泉, 後藤田, 森東敬
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験に向けての技術と理論を習得する ・美容技術の基本であるワインディングをマスターする ・美容師試験第一課題の技術をマスターする 				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
有	井川 泉:美容師として13年の実務経験 森東 敬二:美容師として30年の実務経験 美容師としての経験を活かし美容実習に必要な技術を指導する			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	授業の概要説明 動機づけ	国家試験について 道具の準備、説明		
2~ 8	テーブルセッティング 10ブロッキングウィッグの扱い方	取り扱い方(手入れの仕方) ブロッキング		
9~ 20	ワインディング	下巻き		
21~ 28	ワインディング	センターブロックのワインディング		
29~ 33	ワインディング	ブロッキング センター、バックサイドのワインディング		
34~ 37	ワインディング	ブロッキング、 センター、バックサイド、サイドのワインディング		
38~ 43	ワインディング	全頭50分		
44~ 49	ワインディング	全頭40分		
50~ 55	ワインディング カッティング	全頭40分 シザーズの開閉		
56~ 61	ワインディング カッティング	全頭40分 ワンレングスカット		
62~ 67	ワインディング カッティング	全頭35分 ワンレングスカット		
68~ 79	ワインディング カッティング	全頭35分 レイヤーカット		
80~ 105	ワインディング カッティング	全頭30分 レイヤーカット		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習 1		期末試験	100.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習Ⅱ		美容学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	98回	6単位(196時間)	必須	井川泉, 後藤田, 森東敬
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験に向けての技術と理論を習得する ・美容技術の基本であるワインディングをマスターする ・美容師試験第一課題の技術をマスターする 				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
有	井川 泉:美容師として13年の実務経験 森東 敬二:美容師として30年の実務経験 美容師としての経験を活かし美容実習に必要な技術を指導する			
時間外に必要な学修				
なし				
回	テーマ	内容		
1~5	ワインディング オールウェーブ カット	全頭25分 頭皮マッサージ手順 シザーズの持ち方等		
6~9	ワインディング オールウェーブ カット	全頭23分 オールウェーブウィッグ作成(パーマメントウェーブ)		
10~14	ワインディング オールウェーブ カット	全頭22分 フィンガーウェーブ		
15~20	ワインディング オールウェーブ	全頭21分 フィンガーウェーブ		
21~26	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 フィンガーウェーブ		
27~39	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 フィンガーウェーブ、ピンカール		
40~77	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 フィンガーウェーブ、ピンカール オールウェーブ7段構成		
78~97	ワインディング オールウェーブ	ワインディング デザイン巻きの巻き方 オールウェーブ7段構成		
98	ワインディング オールウェーブ	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理Ⅰ		美容学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
美容師として必要な公衆衛生、環境衛生、感染症に関する正しい知識を身につける 美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格レベルの知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	公衆衛生の概要	理容・美容と感染症 主な感染症		
2	公衆衛生の概要	公衆衛生発展の歴史 理容師、美容師と公衆衛生		
3	公衆衛生の概要	保健所と理容業、美容業		
4	保健	母子保健		
5	保健	成人、高齢者保健		
6	保健	精神保健		
7	環境衛生	環境衛生の概要		
8	環境衛生	空気環境		
9	環境衛生	衣服、住居の衛生		
10	環境衛生	上、下水道と廃棄物		
11	環境衛生	衛生害虫とネズミ		
12	環境衛生	環境保全		
13	感染症の総論	人と感染症(歴史、法律、分類)		
14	感染症の総論	病原微生物(種類、形と大きさ)		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健 I		美容学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	福原
授業の概要				
人体の構造、機能を全体的に学び理解を深める				
授業終了時の到達目標				
各器官の構造及び、機能を学び、それぞれの器官と関連付けて理解することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師として8年の実務経験有り		
時間外に必要な学修				
教科書を中心とした予習復習				
回	テーマ	内容		
1	導入、人体の器官と各部の名称	自己紹介、概要説明、人体お器官と各部の名称		
2	人体の構造	細胞、組織、器官及び器官系		
3	人体各部の名称	頭部、頸部の体表解剖		
4	骨格器系	骨の構成、役割、上肢、下肢骨など		
5	筋系	筋肉の種類と役割		
6	神経系	神経の種類と役割、脳、せき髄		
7	感覚器系	眼、耳、鼻、口		
8	循環器系	心臓の構造、はたらき		
9	循環器系	血液の流れ		
10	呼吸器系	器官、気管支、肺の構造と役割		
11	消化器系	口、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の構造と役割		
12	消化器系	膵臓、肝臓の構造と役割		
13	まとめ	美容師国家試験過去問、解説		
14	まとめ、期末試験	まとめ、期末試験		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験の解答、解説	解答と解説、まとめ		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	公益社団法人日本理容美容教育センター 保健	期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
香粧品化学 I		美容学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	7回	0単位(14時間)	必須	大南
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する 香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	1章 香粧品概論 1節 香粧品の社会的意義と品質 特性	香粧品の社会的意義と品質、必要条件について		
2	1章 香粧品概論 2節 香粧品の規制 2節 香粧品の安定性と取扱い上	香粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示広告の規制について		
3	1章 香粧品概論 4節 香粧品と安全性 2章 香粧品用原料	香粧品と安全性、表示成分と安全性、香粧品によるトラブルについて		
4	2章 香粧品用原料 2節 水性原料 2節 油性原料	水性原料である、水、エタノール(エチルアルコール)について		
5	2章 香粧品用原料 4節 界面活性剤	界面活性剤の基本的性質、種類、香粧品への応用について		
6	2章 香粧品用原料 5節 高分子化合物 6節 色材	高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用について 色材と香粧品、無機顔料、有機合成色素(ケルル色素)		
7	2章 香粧品用原料 7節 香料	香料と香粧品、香料の種類、調合香料について 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、香粧品配合		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 香粧品化学		期末試験 出席率	70.0% 30.0%	主体的に授業参加し学習する 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論 I		美容学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
日本の文化史 世界の文化史 ファッションの造形 礼装				
授業終了時の到達目標				
ヘアスタイルが独立して存在するのではなく服装等とのトータルバランスが不可欠であり時代の波の中でどのように変換して来たかを学ぶことで時代とファッションのかかわりを知る。また、ファッションの造形、色彩の原理などを学び感性を高め来るべき時代の要請にこたえられるデザイナーになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】井川 泉：美容師として13年の実務経験 美容師として経験したヘアスタイルを伝え美容の歴史の変遷を学ぶ		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	総論 日本の美容業の歴史	総論 美容業の発生		
2	日本の美容業の歴史	江戸時代の美容業		
3	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代		
4	ファッション文化史 日本編	古代(飛鳥・奈良・平安・鎌倉)		
5	ファッション文化史 日本編	中世(室町・戦国時代) 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代・江戸時代)		
6	ファッション文化史 日本編	近世Ⅱ(江戸時代・明治)		
7	ファッション文化史 日本編	近世(大正・昭和20年まで) 現代Ⅰ(1945年～1950年代)		
8	ファッション文化史 日本編	現代Ⅱ(1960年～1970年代) 現代Ⅲ(1980年～1990年代) 現代Ⅳ(2000年代以降)		
9	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト 古代ギリシャ 中世ヨーロッパ		
10	ファッション文化史 西洋編	近世Ⅰ(16世紀) 近世Ⅱ(17世紀)		
11	ファッション文化史 西洋編	近世Ⅲ(18世紀) 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め) 近代Ⅱ(19世紀)		
12	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 現代Ⅱ(1930年代～1940年前半) 現代Ⅲ(1940年後半～1950年代)		
13	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅳ(1960年代) 現代Ⅴ(1970年代) 現代Ⅵ(1980年代)		
14	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅶ(1990年代～2010年) 現代Ⅷ(1980年代) 現代Ⅷ(1990年代～2010年)		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験(50分) 試験後の解答解説(40分)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文化論		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 I		美容学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	竹内 志保
授業の概要				
美容師として必要な基礎知識を身に付ける 美容技術を裏付ける基本的理論を習得する 美容師国家試験合格を目指し、学習を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に合格できる知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	美容技術理論を学ぶにあたって	授業概要の説明、美容理論と美容技術 美容技術における作業姿勢、美容技術に必要な人体各部の名称		
3~5	美容用具	美容技術における用具		
6~9	シャンプーイング	シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント、スキャットカットメント、ヘッドスパ		
10~12	ヘアデザイン	美容とデザイン		
13~15	ヘアカッティング	エアカッティングとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢、ブロッキング、ヘアカッティングの基礎的理論、ベニシットなカット技法		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論		授業態度 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論Ⅱ		美容学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	竹内 志保
授業の概要				
美容師として必要な基礎知識を身に付ける 美容技術を裏付ける基本的理論を習得する 美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に合格できる知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ヘアカッティング	ヘアカッティングとはシザーズとレザーの扱い方 美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢、ブロッキング ヘアカッティングの基礎理論、ベータシットなカット法		
3~ 7	パーマネントウェービング	パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブ理論、パーマ剤の分類、パーマ剤に関する注意事項 パーマネントウェーブのバリエーション、縮毛矯正		
8~ 12	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング、 ヘアウェービング、ローテ、カーリング、ブロー、ブレイ		
13~ 17	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論 ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴 髪毛のメカニズム、色の基本、毛髪のレベルとマニゲ		
18~ 21	エステティック	エステティック概論、皮膚の整理と構造、カウンセリング、美容におけるマッサージ理論、フェイシャルケア技術、フェイシャル及びボディケア、フェイシャル		
22~ 25	ネイル技術	ネイル技術理論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能 爪のカット計上、ネイルぐじゅつと公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア、アート、フェイシャルネイル、手と足の		
26~ 27	期末テスト	期末試験、解答解説		
28~ 30	振り返り、まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 1, 2,		授業態度 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック技術		美容学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	南
授業の概要				
・エステティック(フェイシャル・ボディ)の基礎知識、技術				
授業終了時の到達目標				
エステティックを通して、お客様へに心配りを常日頃から意識して行動できるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	授業概要 エステティック概論 お客様を迎えるまで	自己紹介、授業概要説明 エステティック概論 お客様を迎えるまで		
3~ 4	皮膚科学 カウンセリング	皮膚科学 カウンセリング練習		
5~ 6	フェイシャルクレンジング	相モデルでクレンジング スポンジ・タオルふき取り		
7~ 8	フェイシャルクレンジング	ポイントメイククレンジング・クレンジング スポンジ・タオルふき取り 仕上げ		
9~ 10	フェイシャルクレンジング	ポイントメイククレンジング・クレンジング スポンジ・タオルふき取り 仕上げ		
11~ 12	フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ	クレンジング フェイシャルマッサージ 仕上げ		
13~ 14	フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ	フェイシャルクレンジング フェイシャルマッサージ デュオリマッサージュ		
15~ 16	クレンジング~仕上げ (パック)	クレンジング フェイシャルマッサージ デュオリマッサージュ		
17~ 18	クレンジング~仕上げ(パック) ハンドマッサージ	クレンジング フェイシャルマッサージ デュオリマッサージュ		
19~ 24	フェイシャルケアコース練習	クレンジング フェイシャルマッサージ デュオリマッサージュ		
25~ 26	期末試験	フェイシャルケアコース		
27~ 30	フェイシャル機器	フェイシャルケア 吸引		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 美容実習②、 美容技術理論②		出席率 実習・実技評価 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接客マナー		美容学科/1年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	南
授業の概要				
1. 美容師に求められるマナーとは何かを理解する 2. 真のホスピタリティとは何かを理解し、実践するために必要な知識、技術を学ぶ。 (基本動作、敬語、電話対応など)				
授業終了時の到達目標				
1. サービス接客検定3級取得 2. 美容師としてサロンマネジメントに必要なマナー・知識を習得する。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動機づけ 1. マナーの必要性 2. 好ましい身だしなみ	目指すのは感じのいいひと 身だしなみの4要素 笑顔の効果		
2	4. さわやかな返事 5. 基本的なあいさつ	指示・命令の受け方 基本的なあいさつ(お辞儀の仕方)		
3~ 4	6. ことばづかい	敬語(丁寧語、尊敬語、謙譲語) 実践的な敬語練習問題		
5~ 7	サービス接客検定対策	サービス接客検定過去問題		
8~ 9	電話対応の基本	電話の特徴 電話の受け方、かけ方(ロールプレイング)		
10~ 12	来客対応	名刺交換の仕方 案内の仕方 お茶の出し方		
13~ 14	実技テスト	来客対応(受付での対応)		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定実問題集及び配布資料		出席率 課題・レポート 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
色彩学		美容学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	南
授業の概要				
1. 色の働きと知識を習得する 2. ファッションにおける色彩の木佐知識を習得する 3. インテリアにおける色彩の基礎知識を習得する				
授業終了時の到達目標				
1. 色彩検定3級取得 2. 色彩を効果的に使えるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動機付け 授業概要の説明 色の働き	なぜ色彩を学ぶのか 色彩検定3級について 色の働きについて		
2	光と色	色はなぜ見えるのか ①光とは何だろう ②光の性質と色		
3	光と色	確認テスト1 眼のしくみ ①色を見る眼のしくみ ②網膜における光の処理		
4	光と色	確認テスト2 混色 ①混色とは何か ②加法混色 ③減法混色		
5	色の表示(表色系)	確認テスト3 色の分類と三属性 ①色の分類 ②色の三属性 ③等色相面 ④純色 ⑤混色		
6	色の表示(表色系)	確認テスト4 PCCS ①色相 ②明度 ③彩度 ④三属性による色の表示 ⑤等色相面		
7~ 8	色彩心理	色の心理効果 ①基本的な印象への効果 ②色の連想と象徴 色の視覚効果		
9~ 10	色彩調和	配色の基本的な考え方 色相を手がかりにした配色 ①色相を手がかりにした配色 ②色相に共通性がある配色		
11	ファッション インテリア	ファッションと色彩 ①ファッションコーディネートにおける色彩 ②ファッションにおける色彩の注意点		
12~ 14	色彩検定対策	色彩検定過去問題		
15	期末試験 色彩検定対策	色彩検定過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級		出席率 課題・レポート 期末試験	10.0% 30.0% 60.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎 I		美容学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川
授業の概要				
就職活動も含めながら社会人となるための基礎力を身につける				
授業終了時の到達目標				
1)3KAN教育(1.自己効力感 2.成長実感 3.学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2)基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3)目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて今回の学習内容の復習と予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	・就職活動の世界を知る ・偶然が作る人生	・就職活動の目的、目標を考える ・今まで出会ってきた偶然		
2	・ものの見方 ・考え方	・自分の癖を知る ・ものの見方を広げる		
3	・適性検査	・適性検査		
4	・記憶からたどる	・過去/現在/未来の自分から、自分を分析する		
5	・文章の書き方と構成の仕方	・文章の書き方について学ぶ ・テーマに沿った文章を構成する		
6	・自己PR作成	・自己PR作成		
7	・自己PR作成	就職の手引き P13-14 自己PR作成(400字)		
8	・企業の見つけ方	各学科での業界研究、説明		
9	・履歴書の書き方と伝え方	・自身の基本情報、趣味を書き出す		
10	・志望動機	・志望動機を書く		
11	・30問30答	・30問30答の作成		
12	・履歴書、30問30答、自己PR	・履歴書、30問30答、自己PRを完成させる		
13	・プレゼンの基本と応用	・自身の事故PRプレゼンテーションを振り返る		
14	・話の聴き方 ・面接の基本	・話の聴き方、面接の基本を学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
15	・オンライン面接・グループディスカッション	・オンラインでもコミュニケーション方法		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材（穴吹学園） 就職の手引き（穴吹学園） 手帳	出席率	100.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターンシップ I		美容学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	
授業の概要				
サロンワークを行うことにより、実践的な仕事を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
美容師1年目の仕事を学ぶ				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	サロンワーク	挨拶、掃除、片付け、ドリンクサービスなど		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
無し		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイクアップ		美容学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	繁藝 しずか
授業の概要				
1. スキンケア 2. ベースメイクアップ 3. アイメイクアップ 4. アイブローメイクアップ 5. リップメイクアップ		6. ブラッシュオンメイクアップ 7. フルメイクアップ		
授業終了時の到達目標				
1. フルメイクアップの技術習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	1. 道具・アイテムの目的/施術者としての心構え	1) 道具とアイテムの目的/使用方法の確認 2) 施術者としての立ち位置/触り方/立ち居振る舞い		
2~4	2. スキンケアとベースメイクアップ	1) スキンケアの手順確認/実習 2) ファンデーションの色の選び方確認/実習 3) ベースメイクアップの手順確認/実習		
5~8	3. アイメイクアップ	1) アイラインテクニックの確認/実習 2) アイシャドーテクニックの確認/実習 3) アイブローメイクアップテクニックの確認/実習		
9~12	4. アイブローメイクアップ	1) 眉の整え方/描き方 2) 眉型の確認/実習		
13	5. リップメイクアップ	1) リップメイクテクニックの確認/実習		
14	6. ブラッシュオンメイクアップ	1) ブラッシュオンメイクアップテクニックの確認/実習		
15~16	7. 基本のフルメイクアップ	1) フルメイクアップ実習		
17~18	8. 応用メイクアップ	1) アイメイクアップの応用テクニックの確認/実習 2) リップ/ブライダルメイクアップテクニックの確認/実習		
19~20	9. トレンドメイクアップ	1) トレンドメイクアップテクニックの確認/実習		
21~23	10. シーン別メイクアップ	1) ウェディングメイクアップテクニックの確認/実習 2) パーティメイクアップテクニックの確認/実習 3) 美妝メイクアップテクニックの確認/実習		
24~25	11. パーソナルメイクアップ	1) お客様の要望に合わせたフルメイクアップ実習		
26~27	パーソナルメイクアップ	2) テーマを決めたフルメイクアップ実習		
28~29	パーソナルメイクアップ	3) フルメイクアップサービス(サロンワーク)		
30	12. 期末テスト	1) フルメイクアップ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術理論② ・美容実習② 		出席率 授業態度 実習・実技評価 期末試験	10.0% 20.0% 20.0% 50.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
まつ毛エクステンション		美容学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
まつ毛エクステンションの正しい施術方法を学び実践できる知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
教育センター主催の検定試験に合格する。 お客様の安心、安全を何より重視し健康被害のリスク等情報を提供できる技術者となる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】井川泉：美容師として13年の実務経験 美容所での衛生管理の必要性を指導する お客様の安心、安全を何より重視し健康被害のリスク等情報を提供できる技術者とな 時間外に必要な学修			
自主練習				
回	テーマ	内 容		
1	導入 概論 まつ毛エクステンションの用具	まつ毛エクステンション概論 備品・道具・用材・材料		
2	衛生管理	病原微生物 殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌		
3	保健	眼に関する知識 皮膚に関する知識 まつ毛に関する知識		
4	カウンセリング	カウンセリングの目的 注意と説明事項		
5	カウンセリング	カウンセリングの実際		
6	理論	理論の復習と筆記対策		
7	実技	事前準備 テーブルセッティング”		
8	実技	エクステンションの装備		
9	実技	エクステンションの装備 テーピング		
10	実技	エクステンションのリムービング		
11~ 15	実技	検定対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ABE text book		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイリスト実習		美容学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	選択	尾形
授業の概要				
ネイリスト検定試験3級に必要な技能及び知識(ネイルケア・ネイルアートに関する基本的な技能及び知識の習得)				
授業終了時の到達目標				
ネイリスト検定試験3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	ネイルとは	教材説明		
6	筆記模擬試験	爪の構造と働きなど 確認テスト		
7~10	ネイルケアの仕方と注意点	デモンストレーション 消毒管理、テーブルセッティング、カラーオフファイル、 ガンダリオン		
11~12	ネイルケア実習	ネイルでのネイルケア実習 デモンストレーション		
13~24	ネイリスト技能検定試験3きゅう試験要項説明 試験内容の手順	試験要項の説明、手順、デモンストレーション 相モデルでのネイルケア・カラーリング・アート タイルトネイル		
25~26	実技模擬試験	相モデルでの模擬試験		
27~30	チップ作成	チップを作り提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jnaテクニカルテキスト		出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	